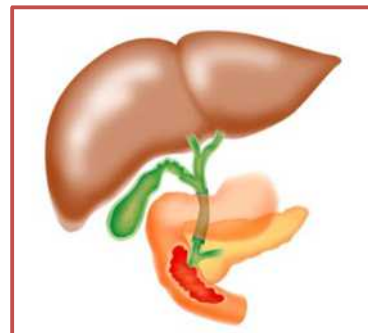


# 肝胆膵がん

市立大津市民病院では、肝臓がん（原発性肝がん・転移性肝がん）、胆管がん、胆のうがん、膵臓がんなど、いわゆる肝胆膵がんに対して、積極的な手術治療を行っています。

原発性肝がんに対する治療法は手術の他にラジオ波焼灼術（RFA）や肝動脈塞栓術もありますが、最も根治性が高いのは手術による切除です。当科では肝切除に必要な手術機器を備え、適応がある場合には腹腔鏡下での切除も行います。但し、肝機能や腫瘍の状態によっては手術が困難な場合もあります。また他臓器からの転移性肝がんの場合でも、特に大腸がんの場合は積極的に切除することにより治癒切除が可能な場合があります。



胆道がん（胆管がんや胆のうがん）と膵臓がんは、手術だけが根治療法です。

下部胆管がんや膵頭部がんに対する膵頭十二指腸切除術は、消化器がんに対する手術の中でも最も高難度な手術とされていますが、当科では合併症を最小限に抑えた安全な手術を年間10～15人の患者様に施行しています。

肝胆膵がんに対する手術はどこ施設でも行えるというものではありません。

安全な根治手術をどこで受けるべきか、というのは患者様にとっては大きな問題ですが、年間の手術件数はひとつの目安となります。当科では肝胆膵がんに対する手術を年間約40件行っております。

入院期間や費用についてはご病気の状態によって大きな違いがありますので、手術を検討されている場合には一度当院外科外来を受診していただければ、ご相談させていただきます。

## おおよその入院期間と費用について

手術名称	入院期間	点数	3割負担の方の概算費用 (限度額適用なしの場合)
肝切除術	18～25日間程度	22～26万点程度	65～80万円程度

概算は、限度額を適応していない金額です。

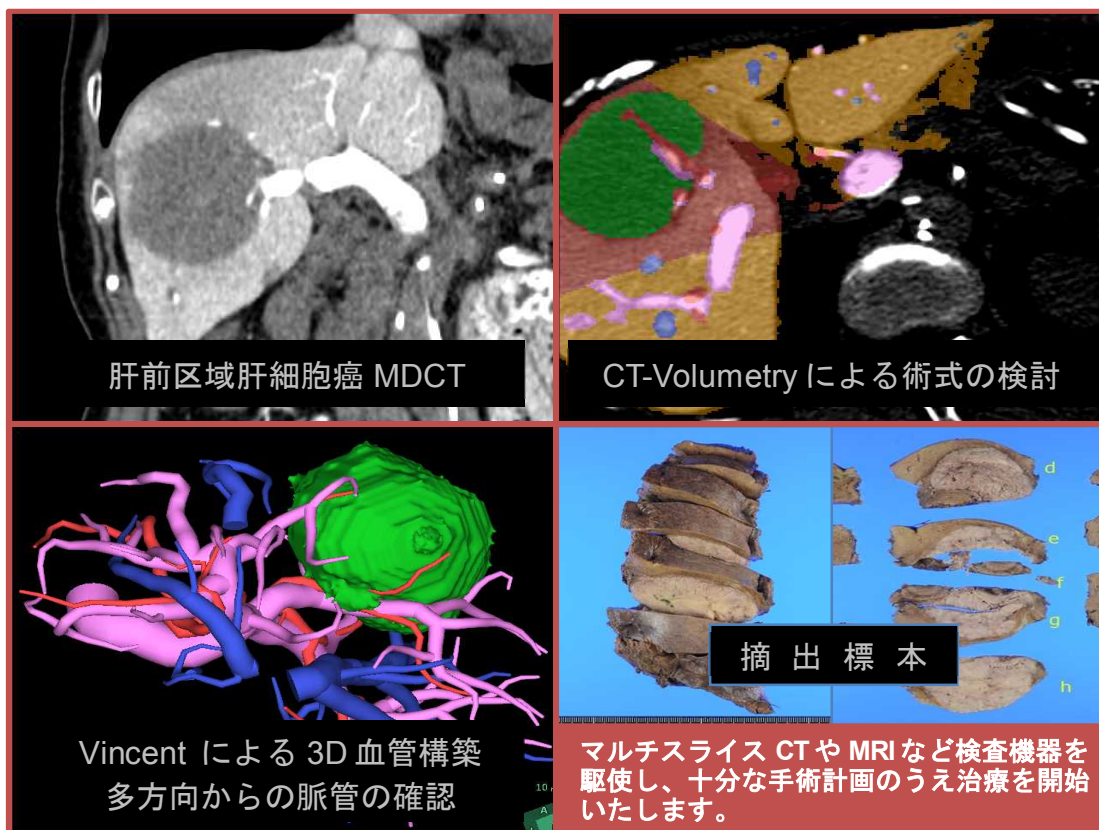
※70歳未満の方が限度額認定証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:ウ(年収約370万～770万円)の方で10万円前後です。

※70歳以上の方は高齢者受給者証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:一般の方で57,600円程度です。

限度額は所得により異なります。食事代や差額ベッド代は限度額認定証の対象外です。



私

たちにお任せください



診療部長

廣川 文鋭



医長

鷲田 修史